

自教労働者

東京自動車教習所労働組合機関紙

発 行 者

東京自動車教習所労働組合

〒110-0003東京都台東区根岸4-11-10

TEL 03-3871-6470 Fax 03-3871-6473

E-mail tdu@toujikyoo.or.jp

URL <http://www.toujikyoo.or.jp>

消費税増税ではなく 法人税や所得税を重視した税制改革を！

現在の日本は、1997年にバブル崩壊で景気が悪い中で消費税が3%から5%に引き上げられ、平均所得額が減少しました。所得が減少したことによって、個人消費は落ち込み、国の税収も減少しデフレスパイラルが展開するデフレ経済になってしまいました。

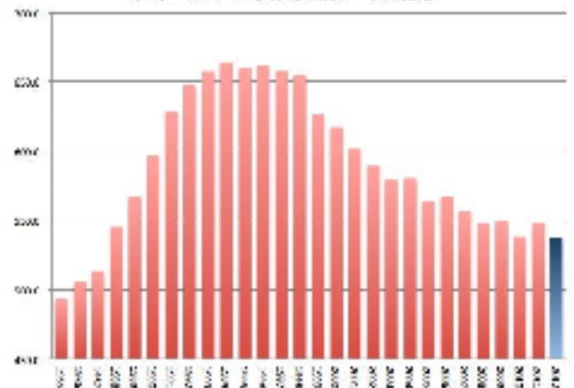
所得が減少したことにより、生活保護世帯への支援、税収がそのものが落ち込んだことから、国債発行額も1997年から増加するなど、国民は貧困化し日本の経済成長率は世界最低になりました。

さらに、2014年には5%から8%に引き上げられ、個人消費はさらに落ち込み日本経済に壊滅的なダメージを与えてしまいました。

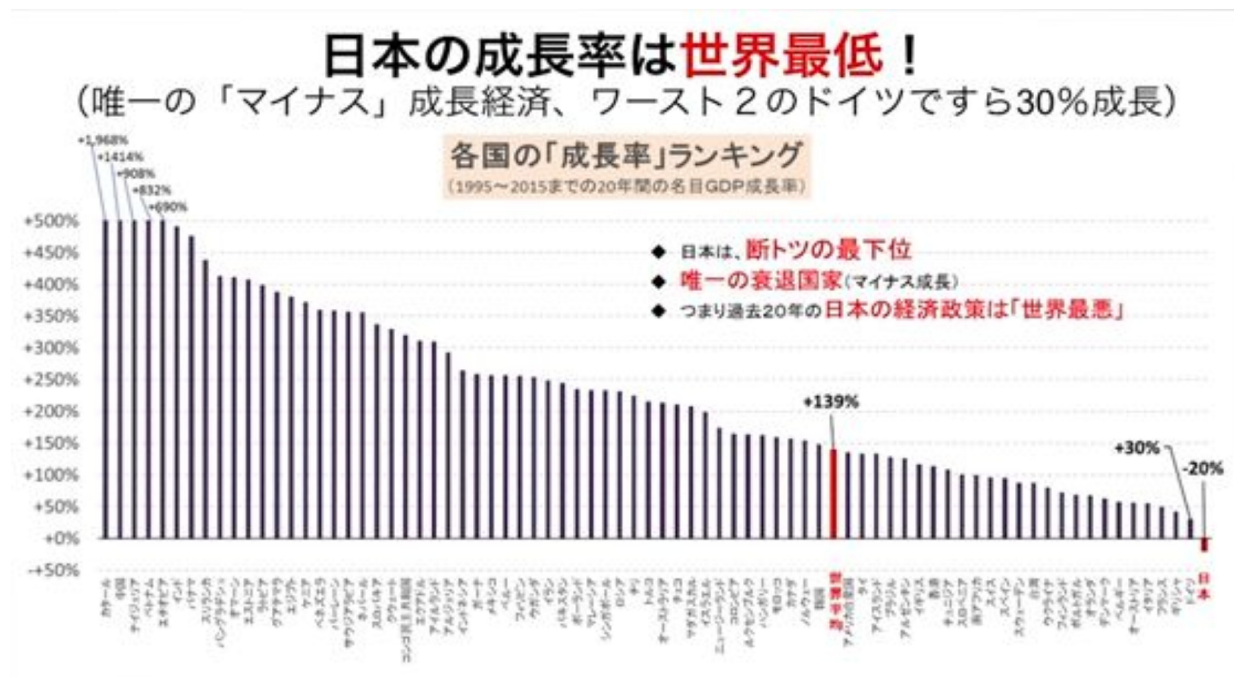
世界経済はこの20年間のGDP成長率（※2面の表参照）で比較すると、世界平均が139%と2.4倍に拡大しています。中国は1,414%と約15倍に拡大。世界最大の経済大国アメリカも135%2.3倍になっています。欧州諸国で最低のドイツも30%と1.3倍の成長となっていますが、日本はなんとマイナス20%となり、世界が2.4倍になっている中、日本が0.8倍ということは、日本の総体的な経済力は20年前の三分の一になってしまったことになります。もはや先進国ではなく、「衰退途上国」になってしまいました。

「衰退途上国」になった理由は、消費税の引き上げであることは明確です。政治を変え消費税の引き下げを果たす必要があります。

1世帯当たり平均所得金額の年次推移



- 1989年 消費税3%導入
- 1997年 3%から5%
- 2014年 5%から8%
- 2019年 8%から10%



大企業・お金持ち優遇政治はやめろ！

法人税率についてはあまり国民の話題になっていませんが、その推移をみるといかに歪んだものかが分かります。

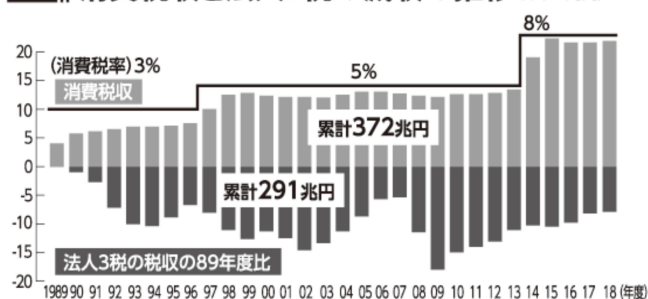
1980年台に43%だった法人税は、安倍内閣が発足したことには30%台、現在は20%台まで下がり、消費税が10%に引き上げられたあとさらに減税にするとされています。

また、所得税率は、1987年当時で4,000万円以上の高額所得者の税率が83%だったものが、現在は50%まで減税になっています。

ですから、消費税で増えた税金は、大企業やお金持ちの減税の穴埋めに使われたという構図になります。自民党の政治は「大企業とお金持ちが払ってきた税金を、普通の庶民が代わりに払う」システムに変えられてきたということになります。

日本で格差と貧困が社会問題になり、成長率も正解最悪となれば、自民党の政治は間違っていると言わざる終えません。

図2 消費税込と法人3税の減収の推移 (単位:兆円)



出所:財務省および総務省公表データにより計算、2016年度までは決算、2017年度は国は補正後、地方は予算額、2018年度は国・地方とも予算額

自民党への献金額 (2015年)

トヨタ自動車	6,440万円
東レ	5,000万円
キャノン	4,000万円
住友化学	3,600万円

大企業の内部留保

2012年度	304兆円
2017年度	446兆円 (46.7%増)

町田支部 第54回定期大会



支部長	服部 誠 (再)
副支部長	佐々木 敏光 (新)
書記長	今井 広樹 (新)



9月2日に開催された大会に、本部から津田委員長と古瀬常執が参加しました。服部支部長は、今年は定年延長を勝ち取りたい。皆さんの協力をお願いしたいと挨拶しました。支部からは、八王子中央支部はどのような職場政策を行っているかの質問があり、津田委員長と古瀬常執は具体的な政策について回答しました。

大会では審議事項や役員選挙も無事終わり、成功裡に閉幕しました。

流山支部 第18回定期大会



支部長	永嶋 秀道 (再)
副支部長	大橋 秀市 (再)
	高橋 宣行 (再)
書記長	田中 智己 (再)

9月1日、本部から外村常執が参加し大会を開催しました。

入所が好調でかつ新加入の組合員もあり、大変明るい大会になりました。

永嶋支部長は、定年を迎える仲間も増えることから、働き方改革などの法律をしっかりと勉強し、支部の利益になるよう運動していくと挨拶しました。



豊島支部 第51回定期大会

支部長 外村 謙二(再)
副支部長 雨ヶ崎 輝之(再)
書記長 深澤 誉裕(再)



新役員挨拶の場面

9月8日、本部から熊谷書記長が参加し大会を開催しました。外村支部長は1年間の運動を労うと同時に、要求前進の為の原資を確保しなければならないとし、そのためにしっかり教習を行っていこうと挨拶しました。

熊谷書記長も、労働モラルの確立と団結で職場を発展させようと挨拶しました。支部大会に2名の新しい組合員も参加し、明るく成功裡に閉会しました。



新加盟の高崎組合員

小金井支部 第51回定期大会



支部長 金森 透浩(新)
副支部長 藤田 直人(新)
書記長 石井 利弥(新)
書記次長 石井 一生(新)



9月14日、本部から熊谷書記長と町田支部の服部支部長が参加し大会を開催しました。5年間支部長をつとめた稲葉支部長が退任となり、新支部長に立候補した金森書記長が役員選挙の結果支部長になりました。熊谷書記長は、東自教の先進的な支部に名乗りをあげたことに、自覚と誇りを持ち、新たな役員体制の下、仲間の要求前進に向けて奮闘しようと述べました。

服部支部長は、入所が好調となっているが、体をこわさないよう留意し、業務に当たり、要求前進を果たして欲しいと挨拶しました。